

第4学年「理科」の学力向上のための方策

児童の実態（成果と課題の分析）

成果 ○ 予想を立てながら課題解決する力が身に付いてきた。

課題 ▼ 児童によって課題意識をもって発問に取り組む姿勢に差がある。

指導の重点（身に付けさせたい力）

- ◇ 観察・実験などに関する基本的な技能。
- ◇ 観察・実験などを行い、主体的に問題解決する力。

具体的な改善策

○自らの疑問を解決できる授業づくり。（日常生活と関連付けた課題提示）

○実験や観察の具体物を、個別に用意したり、実験結果や観察の記録を、一人一人評価するようにしたりして、個に応じた指導をしていく。

達成目標

- 〈物質・エネルギー〉空気、水及び金属の性質、電流の働きについての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付け、追究する中で、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力を育成するとともに、主体的に問題解決しようとする態度を養う。
- 〈生命・地球〉人の体のつくりと運動、動物の活動や植物の成長と環境との関わり、雨水の行方と地面の様子、気象現象、月や星についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付け、追究する中で、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力を育成するとともに、生物を愛護する態度や主体的に問題解決しようとする態度を養う。